

令和 5 年度

**石見智翠館高等学校
一般入学検定試験**

国 語

[注意事項]

1. 解答用紙は、この冊子にはさんであります。
まず解答用紙を取り出して、受検番号を記入すること。
2. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。記入方法を
誤ると得点にならないので十分注意すること。
3. 試験終了後、問題用紙は回収するので持ち帰らないこと。

【第一問題】

次の問一、問二に答えなさい。

問一 次の1～4の傍線部の読みを、それぞれひらがなで答えなさい。

- 1 法案の是非を問う。
- 2 野菜を蒸し焼きにする。
- 3 資料を閲覧する。
- 4 設備が老朽化する。

問二 次の1～4の傍線部のカタカナの部分それぞれ漢字で書きなさい。ただし、楷書で丁寧に書くこと。

- 1 大会が無事にヘイマクする。
- 2 努力がトロウに終わる。
- 3 物語のボウトウを読む。
- 4 ジョウヘキをこわす。

【第二問題】

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

新しい考え方や商品はなかなか社会に受け入れられないものだ。

例えば、コペルニクスの地動説、ゴッホの絵などは、人や社会がなかなか受け入れなかった。『機動戦士ガンダム』もテレビアニメ放送が始まった時には、視聴率がまったく取れなかった。五十二話放送するはずが、四十三話で打ち切りになったほどである。

(Ⅰ) 放送終了後にガンダムのプラモデル(ガンプラ)を売り出すと、ファンが付いて猛烈に売れ始める。勢いに火がついて、劇場用アニメが制作され大ヒット、やがて『ガンダム』は社会現象①といってよいほど、日本文化に根付いていく。

私も演劇、漫画、書物などを通して発信を続けている。その都度、新しいことをやる不安と闘う①ほかない。「昨日の自分を捨てる」という覚悟のいる仕事である。

万人受けするものに良いものはない、と思うようにしている。自分が発表するものは、賛否両論が当たり前なのである。批判されることは楽しくはないが、それも覚悟の上である。

安全な場所に身を置くと、平均的なことしか言えなくなる。敢えて荒波に向かって小舟を漕ぎ出す②気持ちで作品を送り出す。逆に言うと、猛烈な向かい風に向かって漕ぎ進む覚悟のないものを出して、結果が伴わない時の後味の悪さが辛い。

演出という視点③というなら、万人受けする演出はないと心得るべきである。

(Ⅱ) 万人受けを目指すテレビ番組は、もう視聴者に好かれなくなってきた。端的に言ってユー・チューバーのような、ニッチな部分を掘り下げる人にファンが付く時代とも言える。彼らは最初から万人受けを視野に入れていない。

社会に向かって何かを発信する場合、「味方千人、敵千人」だと思ふとよい。そのうえで味方を一人ずつ増やす工夫を忘れないようにすることが大切だ。敵ができることを過度に恐れず、しかし敵を増やすことをできるだけ避ける。

SNSなどでも、不用意にぞんざいな言葉遣いをする人だと思われぬようにするとよい。意味もなく敵を一人増やすこともない。自分としては「当たり前」のことを言っているつもりでも、誤解されることもある。「敵千人」と思っていると、節度を保ちやすい。

目の前に見えていなくても「敵千人」を意識していると、態度に覚悟ができてくる。

SNSでは「いいね」などのプラス評価をたくさん貰った方が嬉しいし、フォローが増えていくのも嬉しい。自己承認欲求が満たされることが第一である。問題は、短期間に「いいね」を増やしたがつたり、「あなたよりフォロワー多いし」などと優越感を求めたりするようになると、いびつな発信をしてしまいやすい点だ。

普段は、友人同士のコミュニケーションツールだと思っている人が多い。(Ⅲ) 発信するときの感覚も「ホーム」である。しかし問題発言をすれば、日本中、世界中がその発言を吟味することができる。ほとんどは知らない人ばかりだ。そういう「アウェイ」の立ち位置にいることを忘れてはいけない。

④ アウェイだという感覚を持てば、もう少し冷静な文章を発信することができるのではなかろうか。

ユー・チューブでもツイッターでも、短期的に大きな反響を得ようとすれば、あざとい発信、演出を繰り出すことになる。

⑤ ネットが枯れ始めると、段々下品になる傾向がある。下品になると、人が離れていくので、そこらあたりが潮時と考えた方がよいのではなかろうか。お金と人気は追えば追うほど、離れていくと言われている。

もちろん、演出次第で一定のファンに愛されているものもある。そういうものは、一見バカバカしく見えたり、過激に見えたりしていても、実は発信者の知性や工夫に何がしか光るものがあるものだ。

(竹内一郎「あなたはなぜ誤解されるのか『私』を演出する技術」一部改変による)

(注) ※ニッチ：すきま。ここでは、一般には気づきにくい小規模な分野のこと。

※あざとい：やり方があくどい。

問一 空欄Ⅰ～Ⅲに入る最も適当な語を次のア～オの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア しかも イ 例えば ウ だから エ つまり オ ところが

問二 傍線部①「新しいことをやる不安」とあるが、なぜ不安が生じるのか。その理由を「くから。」に続くように文中から二十五字

以内で探し、その初めと終わりの五字を抜き出して答えなさい。(句読点を含む)

問三 傍線部②「それ」が指し示す内容を二十五字以内で答えなさい。(句読点を含む)

問四 傍線部③「ぞんざい」の使い方として正しいものはどれか。最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 基礎的なことをぞんざいに扱うような人は大成しない。

イ 日が暮れた後の墓地はとてもぞんざいな雰囲気だった。

ウ 面と向かって文句を言われてぞんざいな気分になった。

エ よく知らないことにぞんざいに口を出すべきではない。

問五 傍線部④「アウェイだ」という感覚」とあるが、どのような感覚か。「発言」「可能性」という語を使って、四十文字以内で答えなさい。(句読点を含む)

問六 傍線部⑤「そこらあたりが潮時と考えた方がよい」とあるが、どういうことか。その内容として最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 人が離れていくような事態にならないよう手を打っておけば安心だということ。

イ 人が離れていった理由を真剣に分析してすぐに取り返す必要があるということ。

ウ 人が離れていくことを恐れずに自信のあるネタを作り続けるべきだということ。

エ 人が離れていったあたりで発信をやめておくぐらいがちょうどよいということ。

【第三問題】

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「これが、清澄^{きよすみ}くんがつくったドレス？」

紺野^{こんの}さんは上体をぐっと反らせて、ボディに着せられたウェディングドレスに見入っている。一週間後の日曜日、姉はこれを着て紺野さんと結婚式を挙げるのだ。

「違いますよ。僕がつくったわけではないんです」

姉から「レンタルのドレスはきらびやか過ぎて、どれも着る気がしない」という趣旨の愚痴を聞かされたのは、春頃のことだった。だったら姉が氣にいるようなドレスを僕がつくってあげようと決心したのだ。ドレスを縫った経験などなかった。知識もなかった。でもやってみたかった。母はいつものように「やめとき」と言ったけど、なんの根拠もなく自分ならできると思いこんだ。

「でも、だめでした」

どうにもならなくて、父を頼った。僕が一歳の時に母と別れてこの家を出た父。会うたび「金がない」とぼやく父。実年齢より若く見える（つまりなんだか頼りない）父。

でも黒田縫製^{くろだ}に行った時の父は違った。父と父の職場の人たちは、ほぼ一日でこのドレスを縫い上げた。

ボディに巻きつけた布を父がちよこちよこつとピンで留めただけで、布は自由自在にかたちを変えた。父の手はオーロラのようなドレープを、雲のようなフリルを、何度でも、何とおりに、手品みたいにつぎつぎと生み出した。いつものふわふわした眠たげな口調もなりをひそめて、あとからやってきたおばさんたちにてきぱきと指示を出す父はまるきり僕の知らない人だった。

「すごいと思いませんか？」

「うん、すごいな」

① ノースリーブが嫌。かわいすぎるのは嫌。とにかくキラキラしてるのは嫌。

そんなンドレスちゃうわ、と僕が鼻白[※]んだ姉の要望を、父と父の職場の人たちは一度も否定しなかっただけでなく、正確にその意図

を酌くんでこのドレスを縫い上げた。

ワンピースと呼んでも差し支えないほどシンプルでカジュアルなデザインと風通しの良いガーゼの素材は、人前に出ることが苦手な姉の緊張をきつとやわらげてくれるだろう。

「でも、仕上げは清澄くんがやるんやろ？」

自分の手でドレスを仕上げられなくて落ちこんでいた僕に、黒田さんが「刺繡しゅうを入れてみては」というアドバイスをくれた。

黒田さんは父の雇い主というか、相棒というか、そんな感じの人だ。僕にとつてはある意味、父以上に父のような位置づけの人物でもあるのだが、その微妙なニュアンスを紺野さんに説明できる気がしない。すくなくとも今は。

「図案のことで、まだ悩んでるんです」

とにかく「無難」を重んじる姉を尊重して、裾のあたりにだけごく控えめに野の花を刺繡しようと思っていた。白い糸で、近くで見るとそれとわかる程度にさりげなく。でもなにかが違うような気がして、まだひと針もすすめられずにいる。だって僕がしたい刺繡は、そして姉にふさわしいのは「無難」なんかじゃないはずだから。

「でも、式はもう一週間後やで」

「そうなんですけど……」

ドレスはこのままでじゅうぶんすばらしいできればえだ。^②僕の刺繡で台無しにするようなことがあってはならないと思うと、なおさら手が動かなくなってしまう。

もう時間がない。刺繡を入れるにせよ、入れないにせよ、はやく決めなければならぬのに。

口ごもってしまった僕をちらりと見て、紺野さんが咳せき払いをひとつした。

^③「質問してもいい？」

「どうぞ」

「そもそも、どういうきっかけで刺繡はじめたん？ いや、前から男子の趣味としてはめずらしいんじゃないかなと思ってて」

あ、おかしいとか言うてるわけではないねんで、とぐいぐい身を乗り出してくる紺野さんを「わかってます、わかってます」と押し

戻した。刺繍をはじめたきっかけは、祖母がやっていたから。でももちろんそれだけではない。

「刺繍は世界中にあって、それぞれ違う特徴があるんです」

紺野さんが「へえ、そうなん」とふたたび身を乗り出す。

「たとえば日本にはこぎん刺しっていうのがあるんですけど、これつてもともと布を丈夫にして暖かくするために糸を重ねたのがはじまりらしくて」

「ほう」

「あとね『背守り』って知ってます？ 赤ちゃんの産着の背中に刺繍する習慣があっただんですって。いわゆる魔除まよけです。鶴とか亀とかね、そういう図案を」

「ほう、ほう」

紺野さんが大きくうなず頷く。姉はきつとこの人のこういうところを好きになったんだろう。自分がものすごくおもしろい話をしているみたいで、悪い気はしない。

日本だけじゃない。ルーマニアのある地方では、娘が生まれるとすぐにその子の嫁入り道具のシーツや枕カバーに刺繍をはじめめる。インドには「ミラーワーク」と呼ばれる鏡を縫いこんだ刺繍の技法がある。鏡が悪いものを反射して身を守ってくれる、と考えられているのだ。

「刺繍はずっと昔から世界中にあって、手法はいろいろ違うのに、そこにこめられた願いはみんな似てるんです。それってなんか、おもしろいでしょ」

世界中で、誰かが誰かのために祈っている。すこやかであれ、幸せであれ、と。

高校生になってからいろいろな刺繍に関する本を読んだりしているうちに、もっとくわしく刺繍の歴史を知りたいと思うようになった。そこにこめられた人々の思いを、暮らしを、もっと知りたいと。

人に話すのはこれがはじめてだった。目標というほどたしかなものではなかった欲求が、言葉にした瞬間に輪郭を得た。そうか僕はそんなふうに考えていたのかと、目をみは瞪る。輪郭をよりくつきりとしたものにしたいくて、もう一度口に出した。

問四

傍線部③「質問してもいい？」とあるが、紺野さんの質問に答えることによって、「僕」は何を自覚することができたか。文中から二十一字で抜き出して答えなさい。(句読点を含む)

問五

傍線部④「この人のこういうところを好きになったんだろう」とあるが、これを文節で分けるとどうなるか。最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア この人の／こう／いう／ところを／好きに／なったんだろう
- イ この人の／こういう／ところを／好きに／なったん／だろう
- ウ この／人の／こう／いう／ところを／好きに／なったん／だろう
- エ この／人の／こういう／ところを／好きになったん／だろう

問六

傍線部⑤「壮大やなあ」とあるが、紺野さんはどのようなことが壮大だと言っているのか。次の形式に合うように、「世界中」という語を使って三十字以内で答えなさい。(句読点を含む)

「僕」が、()と考えていること。

問七

「紺野さん」はどのような人物か。最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 相手が誰であろうとすんなり打ち解けて遠慮なくものを言う人物。
- イ 自分が年上であることを相手に感じさせないような腰の低い人物。
- ウ 興味の示し方が自然で相手の話を引き出す能力に長^たけている人物。
- エ 相手の言葉の途中でも自分の意見を言おうとする傍若無人な人物。

【第四問題】

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

ある驢馬ろば、

病とひしける処ところに、

獅子王ししおう来きつて、

その脈脈を取とり試しむ。

驢馬、これを恐おそるること、限りなし。

獅子王、

ねむねむごろのあま

〈脈を取ろうとする〉

〈過度の親切心から〉

に、その身を、あそここを撫なで回まわして、「いづいづくか、痛いたきぞ」と問とへば、

驢馬、謹いんで云いく、「獅子王の御手ごての当あたり候所こうじよは、今いままでか

〈どこが痛いのだ〉

ゆき所ところも、痛いたく候こう」と、震ふるい震ふるいぞ申まをしける。

その如ごとく、

③

の思惑しごをも知らず、ねむねむごろだてこそ、

④

うたてけれ。大切たいせつを尽つくくすといふも、

常つねに馴なれたる人ひとのことなり。知ら

〈普段から慣れ親しんでいる人〉

ぬ人に、余あまり礼れいをするも、かへつて

⑤

⑥

狼藉ろうぜきとぞ見みえける。

（「伊曾保物語」による）

問一 傍線部①「ねむごろ」・傍線部⑤「かへつて」の現代仮名遣いをひらがなで答えなさい。

問二 傍線部②「震い震いぞ申しける」の理由として、最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 獅子王の相手を選ばない親切さに感動しているから。
- イ 獅子王に感謝の気持ちを伝えたいと思っているから。
- ウ 獅子王に本音を言ってしまう怒られると恐れたから。
- エ 獅子王には本当のことを言うまいと思っているから。

問三 空欄③に入る言葉を、文中から一字で抜き出して答えなさい。

問四 傍線部④「うたてけれ」の意味として、最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 心が弾むものだ
- イ いやなものだ
- ウ 大事なことだ
- エ 効果のないことだ

問五 傍線部⑥「狼藉」とは「無礼なふるまい」という意味であるが、どのようなことを指しているか。三十字以内で答えなさい。(句読点を含む)

【第五問題】

近年、絶滅のおそれがある野生の動物や植物が増加している。このような動植物を人間が保護することについて賛成か反対か、次の指示に従ってあなたの意見を書きなさい。

- 1 百五十字以上二百字以内でまとめること。
- 2 原稿用紙の正しい使い方に従うこと。
- 3 題名や氏名は書かないこと。
- 4 段落は変えないこと。